小規模多機能型居宅介護「サービス評価」　　総括表

法人名	有限会社やわらぎ	代表者	寺川勲雄
事業所名	（本体） 小規模多機能ホームやわらぎ （サテライト） 小規模多機能型居宅介護やわらぎいくし村	管理者（本体） 施設長（サテライト）	越智美代子 田村富美子

法人・事業所の特徴	・有限会社やわらぎとして、松山市、東温市にグループホームを４事業、小規模多機能型居宅介護事業を２事業、介護保険外サービスとして、市内に高齢者向けの賃貸住宅の運営を行っている。・小規模多機能型居宅介護やわらぎいくし村は4階建ての3階部分で同一建物内の２階がグループホーム、４階が高齢者向け賃貸住宅、１階には内科・循環器内科専門の病院（別法人）が併設。同一敷地内には、ＮＰＯ法人ＳＯＲＡ精神障がい者の就労支援事業所を運営している。サービスの内容としては今年度よりサービスの対象は要介護者として要支援（介護予防）のサービスを廃止した。登録定員を18人、通い定員を12名人、宿泊を8人令和4年1月1日より、職員の配置、体制で久万ノ台の小規模多機能居宅介護事業所を本体としてサテライト運営に変更する。サテライト運営の変更に伴って宿泊定員が6人に変更となる。住み慣れた地域での在宅生活の支援として、お一人おひとりの利用者、ご家族の意向や生活環境、身体状況等を踏まえて、必要なサービスを共に考え、もてる力を生かせるような介護計画と実践を重ねて行けるように職員一丸となってケアに取組む姿勢を大切に考えております。

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	6人	1人	2人	1人	1人	12人	1人	26人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
Ａ．事業所自己評価の確認	○介護記録でバイタル（水分・食事量・血圧・排泄等）の記入漏れをなくす。	・紙媒体の記録からタブレットの端末での記録の入力は全職員、操作に慣れてきた。記入漏れは時々ある。血圧など再測が必要な場合に数値の情報共有ができていなくて再測出来ていない時がある。 データとしてはグラフで個別の推移を把握できるのとご家族や医療機関への情報提供にも便利になった。 ・ご家族への情報提供や連絡などは今まで通り、連絡ノートや様式を決めて紙媒体で行っている。	・いろいろ考えてしてくれていると思う。 ・詳細までできていると思う。 ・ご本人に対する対応は懸命にされていることがうかがえる。 ・様々な勤務の方がいるので評価が難しい中、全職員で取り組めたことは凄いと思う。 ・どの項目でも出来ている点、出来てない点の意見が多く出ていて事業所全体で考えて取り組まれているのが伝わる。 ・初期支援改善計画「サービス開始一週間前にはライフサポートプランを作成し周知を行う」→どのような周知をされているのか？参	**○介護記録でバイタル（水分・食事量・血圧・排泄など）の再測が必要な場合はタイマーを セットして確実に計測する。** ※時々、再測が出来てない時がある為。

（続き） A．事業所自己評価の確認				
B．事業所の しつらえ・環境	○毎日の掃除を全職員が行う気持ちを持つ。他の職員がしてくれた時は感謝の気持ちを持つ。 ○整理整頓を心掛け、使ったものは元の位置に戻す。	・意識の違いは個人差がある。 ・掃除が行えたかのチェック表を作成しているので特に衛生面に気を付ける箇所や消毒などはコロナ禍以前からも定着していたので確実に行えている。 ・使ったものを元に戻すも以前に比べるとできている。「ないない、どこにいった」は整理整頓の意識が低くなると増えてくる。使用しない物の片付けがなかなか進まない。	・良いと思う。 ・出来ていると思う ・コロナのこともあり、事業所へ行かせてもらうことが出来てないためよく分からない。 ・どうしても事業所に行かないと分からない事ばかりで「分からない」の回答が多くなってしまう。 ・いつも敷地内外の清掃ありがとうございます。	**○整理整頓を行う。使ったものは元へ戻す習慣をつける。** ※使ったものを元に戻すことがあまり出来ていなく、探し物に時間を無駄に使っていることもある為。

C．事業所と地域のかかわり	**〇気持ちよく丁寧なあいさつ・対応をする（コロナ禍で対応が増え、対応が雑になってしまっていることがあるため）** **（追加）〇コロナ禍の場合：（24時間玄関を施錠しており、来訪者が来られた時、帰られる時その都度開錠している。開錠をかなりお待たせすることがあるため、）開錠をお待たせせずに行う。** ※（いくし村の現状）コロナ禍のため、外部からの出入りやいくし村から外部へ出向くことを昨年に比べ大幅に減らしているため、地域とのかかわりが以前に比べて薄くなってしまっています。	・２４時間１階玄関の施錠を行っているためインターホーン越しの挨拶や電話での対応が増えている。相手への気遣い、印象等の意識が低くなっている場合もあり、気付いた時に直接、また、朝・夕の申し送り、スタッフ会でのケアの気づきの議題の時に伝えている。 ・インターホーンの不具合で応対や開錠が送れて他事業所の職員の方から苦情があった。修理を行った。職員が手薄になる時間帯もあり、お待たせすることもあり、謝罪することもあった。 ・２階のグループホームとの連携で対応に気を付けたい。	・きちんと出来ていると思う。 ・コロナ禍で難しい事が多いと思う。終息したらどんな事がしたいか、何が必要かを考える時間を得ていると思いたい。 ・コロナのため関わりが持てないのでなかなか難しいと思う。 ・コロナの影響もあり、地域行事自体がなく、より地域との関りが希薄になってしまってかと思う。またコロナが終息した際には、地域行事へも積極的に参加して頂けたらと思う。 ・地域の方は小規模多機能やグループホームについてご存じない方もおられるので、そういう事から知って頂き、評価に繋げていければより分かりやすいのではないかと思った。専門用語の理解も大変だと思う。	**〇インターフォン越しの挨拶にも丁寧に対応する。** ※忙しくなると雑になることもある為。

D．地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	**〇エコマップを作成する。** ※（いくし村の現状）今年度は利用者の方とその方がお住まいの地域の民生委員さんとのつながりを2名新たに作ることができました。	・手書きでのエコマップを作成で間に合わせたような取組に止まっている。どうしてもケアマネ、管理者が作成することが多いので日々の業務に追われてしまっている。 ・新規利用者については、地域包括の方との連携や協力で民生委員さんつなげて頂けた。 ・地域の見守り委員の方の中にはコロナ禍で自宅訪問が出来ない中、安否を気遣って、何度も心温まる手紙を届けて下さる方もおられた。 ・独居の利用者の方の場合は特に近隣の住人の方や店舗の方など善意で協力をして頂いていることもあり、心強く感じる事もあった。 エコマップ作成を意識することで利用者の方が暮す地域の方とのつながりをより意識できるようになったと感じる。	・エコマップが出来上がるのを楽しみにしている。エコマップが出来上がることによって利用者の方、それぞれ関わって下さる方の関係性が分かる事で支援に繋がることもあるかと思う。 ・エコマップの作成には労力がいるかと思いますが頑張って下さい。 ・エコマップの作成大変かと思う。通いの方だと送迎時に気付いたことをすぐに記入できるようにエコマップの用紙を記入しやすい所にファイルしておくだとか、端末に直接入力できたらいいですね。必要性を感じないという方もおられましたがきっとその方は頭の中に入っているのだろうと思う。 ・コロナ、プライバシー、ご家族等、人それぞれ状況が違う中で本当にご本人が地域で何を望んでおられるのかを把握することは難しいですね。少しでも近づいていければいいのではないかと思う。 ・よくできていると思う。	**〇エコマップの作成にあたり、新たな情報を付け加えたり、訂正しやすいようにパソコンにて作成する。利用者ご家族に確認して頂く。** ※手書きの物だと訂正や付け加えたりすることで見にくい場合がある為。

E．運営推進会議を活かした取組み	**〇コロナ禍が継続の場合：運営推進会議は文書開催になるため案内や報告等をわかりやすい文書になるよう心掛ける。** **〇通常通り運営推進会議が開催できる場合：テーマを決めて研修会を開く。** ※（いくし村の現状） ・事業所の改善改革の進捗状況を運営推進会議で報告は行えました。 ・コロナ禍で運営推進会議が文書開催になり、参加者が集まっての研修会は開けませんでした。	・１年間文書開催となる。活動報告も文書のみで行ったため、写真の同封を求められたが、個人情報の扱いで同意を得られていない方も多く、会議の時にその場で見て頂くだけであれば問題ないが、資料としては提供ができなかった。「文書だけでは分かり辛い」のご意見もあり、ご負担をかけたことになった。 ・長引くコロナ禍で現状のままでは文書開催によるご負担だけおかけすることがいつまでと先見えない。会議の内容として事業所からの提供ではなく、地域や地域包括支援センターからの問題提起や資料などもお願いしてみることも検討したい。	・難しいけど頑張っていると思う。 ・特にありません。 ・よく出来ていると思う。 ・コロナで文書開催となっているが、活動報告などで取り組みが分かる。 ・文書開催ではありますが、各々からの意見をまとめて送って下さるので分かりやすい。 ・第三回運営推進会議議事録に「ヒヤリハット報告件数が全くないのは疑問に感じました」のご意見を頂き、今回の活動報告にヒヤリハット二件の記載があり、頂いた意見を改善しておられることが分かった。	**〇利用者、ご家族、地域の方、職員の学びの為になるような資料の準備をする。** **〇年二回（その内一回）は民生委員さん、地域包括支援センターに地域の課題について問題提起をしてもらい意見交換する。**

Ｆ．事業所の 防災・災害対策	**〇火災・地震・風水害・夜間に対応した訓練を年1回ずつ行う。** ※（いくし村の現状） ・防災訓練は年2回行っているが、夜間を想定したものは行えなかった。 ・毎月10日に緊急連絡網を回す訓練は、継続して行えている。	・コロナ禍で訓練の内容も人が大勢集まる事を回避しながらの計画になり、敷地内の他の事業所や病院との連携も文書での周知を図るに止まった。 ・「１７１の伝言ダイヤル」の活用や職員間の緊急連絡網を回すはできていない月もあった。ややマンネリになっている。マニュアルの見直しや職員の意識の継続について訓練の内容も含めて検討が必要と考える。	・自己評価5　多機能性のある柔軟な支援「大雨の時など通いを中止して、お弁当を配食したりして支援する事が出来た」→通いサービスを中止して訪問サービスに切り替える基準をどのようにされていますか？ ・「施設の災害訓練になんとか参加できている」との記載があったので事業所内での災害訓練は出来ているかと思う。 ・実際に災害が起きた場合、事業所が地域の方のよりどころになればいいと思う。 ・よく出来ていると思う。	**〇利用者、ご家族、地域、関係機関で「171伝言ダイヤル」を使用し確認をする。** ※災害時に情報共有をするために日頃から訓練をしておく必要がある為。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 3年　8月　19日（　9:30 ～11:00　）
１．　初期支援（はじめのかかわり）	メンバー	管理者1名、介護支援専門員1名、介護職員10名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	7人	5人	人	12人

前回の改善計画
・3分間研修で、サービス開始前に職員全員が対象の利用者のライフサポートプランを周知する。

前回の改善計画に対する取組み結果
・ライフサポートプランの作成がサービス提供ギリギリになってしまうため、サービス開始前に全員への周知が遅くなることはあるが、職員が各々で確認してもらえている。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	人	10人	2人	人	12人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	人	11人	1人	人	12人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか？	人	12人		人	12人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	人	7人	4人	人	11人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・ライフサポートプランについて、ケアマネから周知されている。
・利用者さんへの声掛けや気遣い。
・介護支援計画書等で情報確認しています。
・3分間研修が継続できていることは大きい。この短時間を使って内容を変更しながら様々なことに取り組めている。
・利用者さんが慣れていない場所など適切に対応・声掛けができていると思う。
・利用される時点からの情報の共有や気配り。
・新しい利用者さんについては前もってケアマネから説明があり、事前情報にも目を通しているので一応把握できていると思う。
・利用開始前にしっかり情報を入れておき、ご本人がまだ慣れていない時期はしっかり気遣いサポートしていく。
・ご家族からの情報収集に努めている。新たに知りえた情報をケアマネに口頭及び申し送りの記録等で伝えたり、職員間で共有するようにしている。

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

・家族への配慮。
・周知された情報について精査・更新がされにくい。
・3分間研修の参加に送迎や勤務体制の関係でやや偏りがある。
・サービス提供前のライフサポートプランの周知。
・反復しての利用者や家族のニーズの確認。
・ライフサポートプランの説明を受けてもそのサポートに沿ってサービスができているかは不安。
・ご家族の不安などで受け止め配慮することができていない。
・運動や体操など何かを実践することはやや難しい。
・新規の利用の場合、アセスメントシートで情報共有することが多く、個々でミーティングはできていない。
・本人のニーズと言うより、ご家族のニーズになっている場合も多い。

（できていない理由）
・言われた情報と現状にずれがあってもそのままになってしまい見直しができていないから。
・ご家族へ別件などで電話対応をした時に言葉でしっかり伝えることができず、あいまいな対応になっている時がある。
・勤務体制のことなのでやむを得ないのでそこは申し送りなどでカバーすればよいかと思う。
・ライフサポートプランの作成がサービス提供ギリギリになってしまうため。
・理解できたと思って介護をスタートさせるため。
・ご家族から直接不安など聞く機会がない。
・運動や歩きに関しては声掛けなどできていない。
・利用直前の情報周知がスタッフ会とは別に設けることが難しいため紙面での伝達になる事も多い。
・相談から利用までの期間もあり、面談時の情報量ができるだけ多いと良いが、思うようには進みにくい。

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）

・サービス開始1週間前にはライフサポートプランを作成し、周知を行う。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 3年　8月　19日（　9:30 ～11:00　）
２．「～したい」の実現 （自己実現の尊重）	メンバー	管理者1名、介護支援専門員1名、介護職員10名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	2人	6人	4人	人	12人

前回の改善計画
・業務開始前に前日の申し送りは必ず目を通す。 ・出勤中にそれ以前の申し送りに目を通す。
前回の改善計画に対する取組み結果
・申し送りがタブレットになったことで、時間は問わず確認がしやすくなった。 ・業務開始前に前日の申し送りに目を通せている職員と、出勤して業務に入ってしまい目が通せていない職員がいる。また、読んでも申し送りが頭に入っていないこともある。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？		8人	4人		12人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？		11人	1人		12人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？		8人	4人		12人
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かせていますか？	人	11人	1人		12人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・出勤時に端末での記録になってから確認できるようになった。 ・担当している利用者のプランはおおむね把握できている。事業所の支援内容は担当以外であっても周知できている。 ・関わって実践した内容を発言し、アドバイスをもらったりして次の対応に行かせている。 ・出勤した時に申し送りは聞いているし、タブレットの申し送りは必ずチェックしている。 ・実践した内容を職員に聞き取り次のライフサポートプラン作成に生かせている。 ・ミーティングで関りの中での気づきなど、自分の意見を発信させている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

・出勤日数の少ない職員については出勤時に申し送り等を見返すのに時間はかかるのと変更となると対応に必要な周知が間に合わないこともあり端末になってもメモや口頭で重ねて申し送る事も多い。
・業務開始前に前日の申し送りを必ず目を通すことができていない。
・ミーティングなどでの改善に対する取り組み。
・ミーティングでの時間短縮のため発言してもらうことは減った。
・日々の関りの中で本人の目指すところへつないでいけれていない部分がある。
・現場がひと段落落ち着き、少しゆとりが生まれた際の利用者との関わり。
・日々、同じ生活の繰り返しになっていることがあり、利用者のニーズに合わせた関りが全員にできているとは思えない。

（できていない理由）
・プランの説明が開始前、全職員に伝わるのに時間を要するのとタイミングが合わないこともある。だれが伝えるかを決めていても更新できていないときもある。
・出勤してすぐに忙しそうに現場がしていたら申し送りが見れない。
・しっかりした利用者なら本人の目標はわかるが、帰宅願望の人等は自身の状況がわかっていないので、家族との間で隔たりがあり、ちょっと全員に当面の目標はわからないと思う。
・発言を積極的にしようとしていない。
・ご本人の希望することのみを優先できないこともあるため。
・他の業務を優先してしまい、おろそかになっている。
・職員数が少なくて忙しかったり、時間を効率的に使えていないから。

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）

〇必要な支援について、例えば個別の運動は実施する時間を決め、その時間をアラーム設定しそれを合図に始める。利用者にも説明し取り組んでいただく。
〇ケアプランの内容の達成度がわかりやすいように％で表せるようなものにする。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 3年　8月　19日（　9:30 ～11:00　）
３．　日常生活の支援	メンバー	管理者1名、介護支援専門員1名、介護職員10名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	4人	8人	人	12人

前回の改善計画
・ケアプランと暮らしのシートのファイルの活用方法→昔の本人の暮らし方（昔の職業、特技、地域性等）を職員全員で情報収集してファイルに記入する。
前回の改善計画に対する取組み結果
・独居の方は自宅での生活の把握は本人に聞き取りにくいところもあり、あまり行えていない。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？		3人	9人	人	12人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	1人	10人	1人	人	12人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	1人	8人	3人	人	12人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	1人	8人	3人	人	12人
⑤	共有された本人の気持ちや対象の変化に即時的に支援できていますか？	人	7人	5人	人	12人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・ご本人に合わせた食事や入浴、排せつ等。
・コロナ禍ではあるが、毎日スタッフと共有して利用者と向き合ってがんばっている。
・利用者さんの状況に合わせた食事、例えばおかゆだったり刻み食とろみなど提供できている。
・情報収集できたことはファイルではなく申し送りに記入して周知出来るようにしている。
・体調の変化など少しでも変わったことがあると他職員などと相談出来ている。
・ケアマネと管理者が担当者会の記録、プランの内容の確認をして計画や補足などに繋げている。

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

・ご本人の気持や体調の変化。
・ご本人の昔の暮らし方についての情報収集は活発ではない。
・利用者と昔の話しをする時もあるがファイルに記入出来ていない。
・担当している利用者のことは気を付けて聞いたり情報収集したり出来ているが他の担当になっていない利用者が疎かになっている。
・ご本人の自宅での暮らし方はある程度把握出来ているつもりだが10個以上は分かっていない。
・定期的に行わないとプランの更新時のみでは聞いたことを記録に残せていないこともある。

（できていない理由）
・情報が少ないと思う。
・こうだろうと勝手に決めつけて考えてしまっている時がある。
・すぐに書き込めるファイルがなく時間が開くと書くことを忘れている。
・利用者のいろいろなことを知ろうとする気持に慣れていない。担当の利用者で精一杯。
・昔の事についてあまり本人と話す機会がとれていない。
・なぜ昔の暮らし方を情報収集するか必要性を強く感じていないのではないか。
・スタッフ会に全員参加が出来ていないため、文章で伝え周知、意見を記録する事にしたが出来ていない事も多いしタイミングがズレる。
・情報を得やすい人とそうでない人がいる。

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）

・普段の関わりで本人や家族から出た昔・今の状況で生活に関する情報はタブレットのタイムライン上部の「特記事項」に記録する。
・モニタリング時に担当者が確認し、スタッフ会で共有できるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 3年　8月　19日（　9:30 ～11:00　）
４．　地域での暮らしの支援	メンバー	管理者1名、介護支援専門員1名、介護職員10名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	1人	4人	5人	10人

前回の改善計画
・年内にエコマップの書式を準備し、担当者を中心を作成する。
前回の改善計画に対する取組み結果
・ご家族との縁が切れないよう、機会を作り支援をお願いしたり、近況をお伝えしたりできた。 ・エコマップの作成ができなかった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？		3人	8人	1人	12人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	人	3人	9人	人	12人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	人	6人	6人	人	12人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	人	2人	7人	3人	12人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者の自宅での暮らしぶりについての理解。 ・ご本人とご家族の関係が切れないようにコロナ感染対策をとりながら、さまざまな形で繋いでいくようにしている。 ・送迎の時に日々の様子を伝えたり連絡ノートを活用している。 ・ご家族との繋がりが少ない方については書面など郵送する時にご本人の様子を書いて送るように努めている。 ・コロナ禍で面会は難しいが、電話や何かを持って来られた時に現状を伝えたりしている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

・ご本人と地域の繋がりに対する支援。
・事業所が直接接していない時間の過ごし方では見えない部分なので十分な把握には至っていない。
・エコマップは作成出来ていない。
・エコマップの職員への周知は出来ていない。
・コロナ禍が影響して地域の方達と接触出来ていない。

（できていない理由）
・日常の介護に追われているため。
・独居の方もいるため難しい部分がある。
・ご本人と関係者を把握出来ていない。
・エコマップの必要性は分かっているが着手しなかった。
・夜勤専従なため、訪問に伺う事や住んでいる所も知らないので把握出来ていない。
・独居の方のご家族から情報を得られていない。
・エコマップの書式の準備、どのように書いていくかの周知が出来ていない。
・必要性を感じていない。
・コロナ禍で特にそう思う。

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）

・年内までにエコマップを作成する。（担当者が下書きをを行う。）

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 3年　8月　19日（　9:30 ～11:00　）
５．　多機能性ある柔軟な支援	メンバー	管理者1名、介護支援専門員1名、介護職員10名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	1人	9人	2人	人	12人

前回の改善計画
・体調の変化以外にも天候、災害などに柔軟に合わせた利用者の支援を今後も続けていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
・おおむね行えている。 ・コロナ禍というものあり、地域の資源を使う機会が少ない。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	人	4人	7人	1人	12人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	3人	7人	1人	人	11人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	1人	11人	人	人	12人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	2人	8人	2人	人	12人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・職員間で共有し、体調の変化、天候などに合わせた支援。
・利用者の様子の違いなどを記録したりスタッフ会で共有している。
・大雨の時など通いを中止してお弁当を配食したりして支援をすることが出来た。
・コロナワクチン接種時は宿泊をして頂き、体調チェックを行えた。
・記録や申し送り等により自分なりにその日の状態を把握し支援をしている。
・必要に応じて訪問時間を増やしたり延長するなどの対応が出来ている。

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

・災害時の訓練の参加。
・本人の状態、ニーズに合わせた柔軟な支援がなかなか出来ていない。
・地域の資源を使っての支援は出来ていない。
・対応している時に細かく記録に書けていない。
・出勤日数の少ない職員は対応が変わったことなどが伝えきれていないことがある。
・コロナの収束を待って

（できていない理由）
・コロナの影響もある。
・出勤のタイミングが合わず参加できていない。
・後で気づくことがよくある。
・コロナ禍において関わりが持てない。
・日が経つと伝えることを忘れていることもある。

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）

・細かい事でも気づいたことを申し送りに記録し、職員間で情報を共有する。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 3年　8月　19日（　9:30 ～11:00　）
６．　連携・協働	メンバー	管理者1名、介護支援専門員1名、介護職員10名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	3人	7人	2人	12人

前回の改善計画
・コロナウイルスの感染に気をつけて利用者や事業所にとって必要性の高いものから研修への参加や地域の活動に参加する。
前回の改善計画に対する取組み結果
・コロナ禍のため、各関連機関と顔を合わせて行う活動自体少なく、出席はあまりできなかった。 **・照会文書やリモート、電話など代わりの方法で関りの継続を行った。**

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	人	1人	7人	4人	12人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	人	人	6人	5人	11人
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	人	1人	4人	6人	11人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	人	人	3人	8人	11人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・研修への参加。 ・少しずつ出来ている研修もあるが、コロナの状況に応じて取り組めている。 ・サービス担当者会(文書開催)にて関係機関等の意見の収集は出来ている。 ・施設の災害訓練になんとか参加出来ている。 ・サービス機関へは直接お伺いしたり電話や書面を利用して意見支援は出来ている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

・関係機関との連携。
・地域住居との関係。
・サービス担当者会で関係機関から出た意見を職員全体が把握出来ていない。ケアプランの作成が出来た時点で知ることになる。
・コロナ禍の中などで人が集まっている所へは行けていない。
・コロナの感染リスクを考え実施出来ていない。
・コロナの収束を待っていたが、その間衣類などの買い物ができていない。家族の協力も得るのも最小限にとどまっている。

（できていない理由）
・コロナでイベント等が中止になった。
・コロナ感染のリスクを第一に考えるため。
・日常の介護に重点を置かざるをえない社会状況のため。
・外部の研修の開催が少なかった。リモートでの参加については一部の職員しか対応が難しかった。

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）

・コロナウイルスの感染に気をつけて利用者や事業所にとって必要性の高いものから専門以外で職員の視野を広げられる研修への参加や地域の活動に参加する。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 3年　8月　19日（　9:30 ～11:00　）
７．　運営	メンバー	管理者1名、介護支援専門員1名、介護職員10名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	1人	10人	1人	人	12人

前回の改善計画
・スタッフ会にて苦情の有無を確認し、職員間で共有する。 ・ケアマネの月1回の訪問で苦情について利用者や家族にお伺いを立てる。 ・内部で解決できる事案は申し送りや掲示板等に記入し、解決する。
前回の改善計画に対する取組み結果
・苦情の共有はスタッフ間で行い、早期の改善に勤めている。 ・地域に向けて近所へはパンフレットの配布を行った。 ・コロナ禍で事業所が地域の方と顔を合わせて話す機会は少なかった。 ・ケアマネの月一回の自宅訪問または電話等でご本人やご家族にお伺いを立てられている。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	2人	5人	5人	人	12人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	人	9人	3人	人	12人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	人	6人	4人	2人	12人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	人	1人	6人	4人	11人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・申し送りの際や個人的な話し合いにより、苦情の有無の確認、その後の対応等話し合えている。
・いろいろな方からの苦情や意見を聞いた時、些細なことでも管理者報告している。
・スタッフ会にて苦情等の共有は出来ている。
・ケアマネの月一回の自宅訪問または電話等でご本人やご家族にお伺いを立てられている。
・問題が生じた時は後回しせず解決に向けて動いている。
・運営推進会議(文書開催)でご意見を求め周知し反映に努めている。

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

・地域と協働した取り組み。
・苦情マニュアルを確認していない。
・地域にパンフレットをポスティングや掲示板に貼る以外はほとんどアプローチ出来ていない。

（できていない理由）
・コロナ禍のため関わりが持ちにくい。
・電話対応などで地域の方と接する機会など出来ていないため。
・コロナ感染のこともあり、みんなで集まって会議などが出来ない。
・発信物は作成出来ていない。また作成に向けての計画も出来ていない。

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）

・地域の方にお会いした時は自ら明るく挨拶を行う。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 3年　8月　19日（　9:30 ～11:00　）
８．　質を向上するための取組み	メンバー	管理者1名、介護支援専門員1名、介護職員10名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	4人	6人	2人	人	12人

前回の改善計画
・3分間研修は引き続き行う。研修の担当者は自分の興味のある題材から研修に使う書類を用意する。担当は2か月ごとに決めておく。 ・違う内容で3分間研修を入れる必要があった時は、そちらを優先する。
前回の改善計画に対する取組み結果
・3分間研修はおおむね毎日行えている。勤務や訪問時間の都合上、出席できる職員にやや偏りがある。 ・

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	1人	7人	4人	人	12人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	人	4人	7人	1人	12人
③	地域連絡会に参加していますか	人	人	5人	7人	12人
④	リスクマネジメントに取組んでいますか	1人	4人	5人	2人	12人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・リスクをあらかじめ想定した介助。
・3分間研修では一人一人題材を持ち寄り研修継続出来ている。
・リスクマネジメントの研修の機会を設けている。
・3分間研修は毎日行えている。

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

・コロナ感染対策のため、地域連絡会または研修などの参加を見合わせている。
・スキルアップの研修の参加が出来ていない。
・研修への積極的な参加。
・外部の研修には数える程しか行えなかった。
・地域の連絡会は施設として参加しているかどうか分からない。
・3分間研修は質の向上するためにより良い取り組みだが勤務形態により参加がなかなか出来ていない。
・3分間研修で行って内容の振り返り。

（できていない理由）
・コロナのこともあり、参加出来ていないことと自分の中でどのようなスキルアップの研修を受けたいのか整理や考えがまとまっていない。
・資格についての取り組みは年齢的に必要と思われない。
・コロナ禍で機会がほぼなくタイミングで参加出来なかった。
・人には得手、不得手とする部分がある。
・自身が参加していなかった日の意見の確認が出来ていない。

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）

職員が事業所内外の研修会に1回以上は予定を立てて参加する。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 3年　8月　19日（　9:30 ～11:00　）
９．　人権・プライバシー	メンバー	管理者1名、介護支援専門員1名、介護職員10名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	1人	5人	4人	人	10人

前回の改善計画
・掲示板への書き込みがあった次の日に朝の申し送りで職員で共有する。その日に共有できなかった書き込みは改めてスタッフ会で共有する。 ・その日に共有できなかった書き込みは改めてスタッフ会で共有する。
前回の改善計画に対する取組み結果
・掲示板への書き込みはほぼ活用出来ていない。 ・虐待や身体拘束に繋がるような言動、行動はその時に話し合って改善するようにしている。 **・利用者の不安や難しい対応にきちんと声掛けや他の方に相談出来ていると思う。** **・スピーチロックに近い発言や、忙しい時など口調が厳しくなる時がある。**

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	2人	10人	人	人	12人
②	虐待は行われていない	4人	7人	1人	人	12人
③	プライバシーが守られている	3人	6人	3人	人	12人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2人	8人	1人	人	11人
⑤	適正な個人情報の管理ができている	1人	11人			12人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・身体拘束や虐待は行われていない、又、それに値するような対応はしないように心掛けている。
・利用者にとって人権を尊重し大事に思い支援、介助をしている。
・利用者の不安や難しい対応にきちんと声掛けや他の方に相談出来ていると思う。
・スタッフ会で共有の必要性があるものは話し合うように努めている。
・虐待や身体拘束に繋がるような言動、行動はその時に話し合って改善するようにしている。

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

・認知症の方へのスピーチロック、言葉の選び方などまだ自信がない。
・プライバシーを守っているつもりであっても、職員間でやりとりをしている内容等が時に守れていないことに気付いていない。
・スピーチロックに近い発言や、忙しい時など口調が厳しくなる時がある。
・プライバシーに関しては連絡先のファイルを見える位置に少しの間置いたままにしてしまった。
・泊り部屋の戸を開けていることが多い。

・掲示板への書き込みはほぼ活用出来ていない。

（できていない理由）
・同じことをくり返し話される事、帰宅願望、入浴拒否などに対し、気長に話せる、話題を変えて話すことが出来ず気持ちに余裕が無くなっている時がある。
・一つの動作が時間がかかる人に対し瞬間的にイライラが沸点になっているのだと思う。
・プライバシーを守っているつもりで気が付いていない部分があるから。（排泄等の情報のやりとりなど）
・気の緩みが原因。
・スピーチロックの視点を忘れているのだと思う。
・定期的に活用の周知が図れていなかった。

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）

・利用者と会話をする時は目線を合わせて穏やかに話を聴く態度を持ち行う。